

国体中国ブロック予選

令和3年8月21日(土)新見市憩いとふれあいの公園多目的広場で、国体中国ブロック予選が開催されました。

1試合目は、岡山県代表と対戦しました。

広島県先攻で試合開始、初回到4番山下の2ランホームランで先制しました。3回は、3番森田の追加点となるホームランで、その回2点追加し、4・5・6回と毎回得点。また、先発ふるさと選手の田内投手(日立サンディーバ所属)が相手打線をシャットアウト。7-0で6回コールドとなり、勝利しました。

2試合目、ブロック代表決定戦は、鳥取県代表と対戦しました。

鳥取県先攻で、広島県先発の原田投手の立ち上がりを攻められ、1点を追いかける展開となりました。その裏、すぐに1・2番出塁し、3番森田が逆転タイムリースリーベースヒットを放ち2点を入れました。

お互い5回まで得点がなく、5回表に鳥取県の攻撃、エラーでランナーを許し、2番打者にタイムリースリーベースヒットを打たれ同点となりました。投手、原田に代わり田内選手が後続を抑えました。その裏、1番穂山がヒットで出塁し、すぐさま盗塁でチャンスメイクをすると、4番山下のタイムリーヒットで勝ち越しに成功しました。

その後、田内投手が点を与えることなく投げ切り、3-2で広島県代表が勝利し、中国ブロック予選を突破しました。しかし、9月開催予定だった三重国体は、中止となり幻の大会になってしまいました。

今年度、小泉病院主体のチームで臨んだ国体は、これで終わりましたが、これから延期になっていました、11月開催予定の全日本総合選手権大会(開催地:栃木県太田原市)に向け、チームとして強くなっていきたいと思えます。引き続き、応援のほどよろしくお願いいたします。

【試合結果】

☆1試合目 7-0 ○

	1	2	3	4	5	6	計
広島県	2	0	2	1	1	1	7
岡山県	0	0	0	0	0	0	0

広島:田内-藤井(1-6回)

本塁打:山下(1回)森田(3回) 2塁打:若森(3回)

☆2試合目 2-3 ○

	1	2	3	4	5	6	7	計
鳥取県	1	0	0	0	1	0	0	2
広島県	2	0	0	0	1	0	×	3

広島:原田-藤井(1-5回2/3) 田内-藤井(5回1/3-7回)

3塁打:森田(1回)



広島県代表選手